本件の対外公表時刻は
7月4日（水）14時00分

２０１２年７月４日
日　本　銀　行
情報サービス局

「生活意識に関するアンケート調査」（第50回）の結果
—— 2012年6月調査 ——

＜はじめに＞

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、1993年以降、全国の満20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査（短観）」のような統計指標としての調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

＜目　次＞

１．要　旨
　１－１．景況感等　2　頁
　１－２．暮らし向き、消費意識　4　〃
　１－３．物価に対する実感　6　〃
　１－４．先行きの地価動向　10　〃
　１－５．日本経済の成長力　10　〃
　１－６．日本銀行に関する認知度、信頼度等　11　〃
２．集計対象標本の属性分布　20　〃
３．アンケート調査結果の詳細　21　〃

【調査概要】

・調査実施期間　：2012年5月10日(木)～6月5日(火)
・調　査　対　象　：全国の満20歳以上の個人
・標　　本　　数　：4,000人（有効回答者数 2,281人＜有効回答率 57.0％＞）
・抽　出　方　法　：層化二段無作為抽出法
・調　査　方　法　：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

＜本件に関する照会先＞
情報サービス局総務課総務企画グループ
小野寺、阿部、早川（直通：03-3277-2405）

１．要　旨

１－１．景況感等

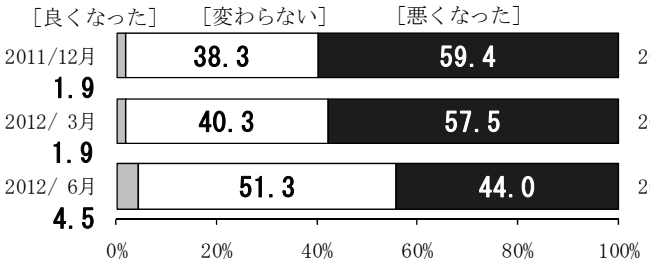
１－１－１．景況感

景況感のうち、現在（１年前対比）については、「悪くなった」との回答が減少し、「良くなった」との回答が増加したことから、景況感Ｄ．Ｉ．は改善した。先行き（１年後）については、「悪くなる」との回答が減少し、「良くなる」との回答が増加したことから、景況感Ｄ．Ｉ．は改善した。

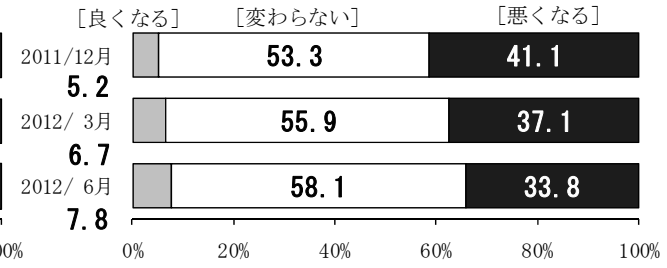
なお、現在の景気水準については、「悪い」と「どちらかと言えば、悪い」との回答の合計が減少し、７割台後半となった。

（図表１）景況感〔Q1、3、4〕

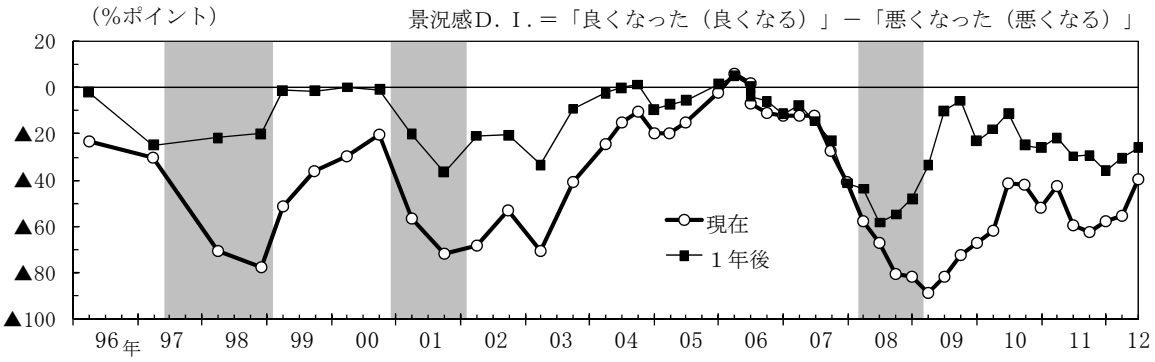
＜現在を１年前と比べると＞



＜１年後を現在と比べると＞



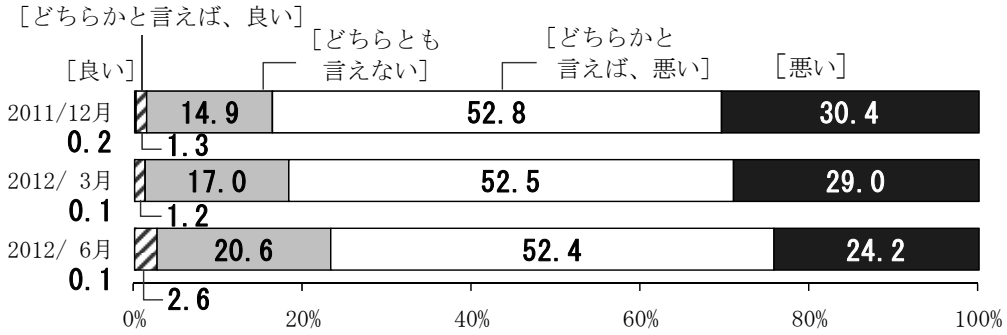
＜景況感Ｄ．Ｉ．の推移＞



	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6
現在の景況感 Ｄ．Ｉ． (前回比)	▲72.3 (+9.1)	▲67.0 (+5.3)	▲62.0 (+5.0)	▲41.2 (+20.8)	▲42.1 (▲0.9)	▲51.7 (▲9.6)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)	▲39.5 (+16.1)
１年後の景況感 Ｄ．Ｉ． (前回比)	▲5.7 (+4.2)	▲23.1 (▲17.4)	▲17.9 (+5.2)	▲11.2 (+6.7)	▲24.7 (▲13.5)	▲25.9 (▲1.2)	▲21.7 (+4.2)	▲29.6 (▲7.9)	▲29.2 (+0.4)	▲35.9 (▲6.7)	▲30.4 (+5.5)	▲26.0 (+4.4)

（注）1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
2. 2006/6月調査までのＤ．Ｉ．は「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」。
3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
4. シャドー部分は、景気後退期。

＜現在の水準＞

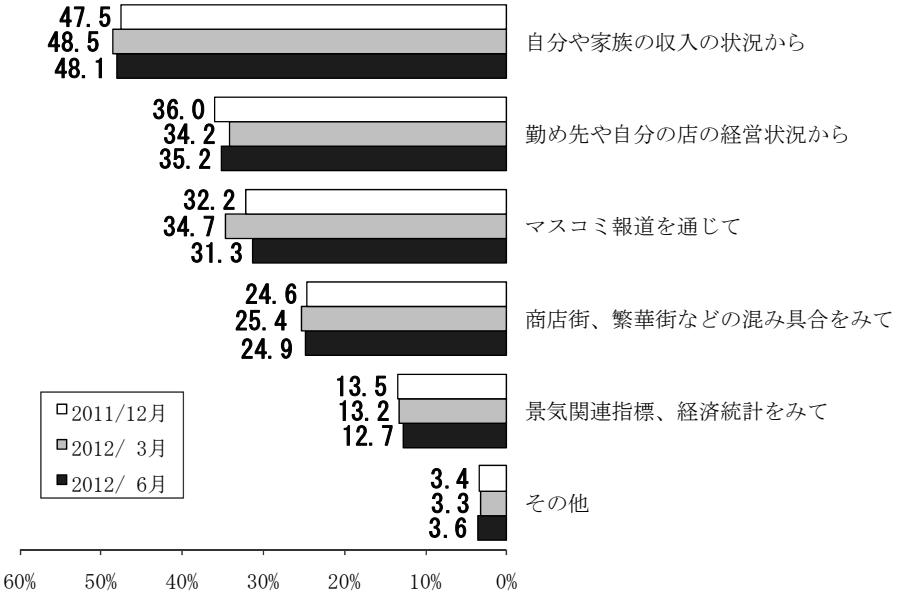


１－１－２．景気判断の根拠等

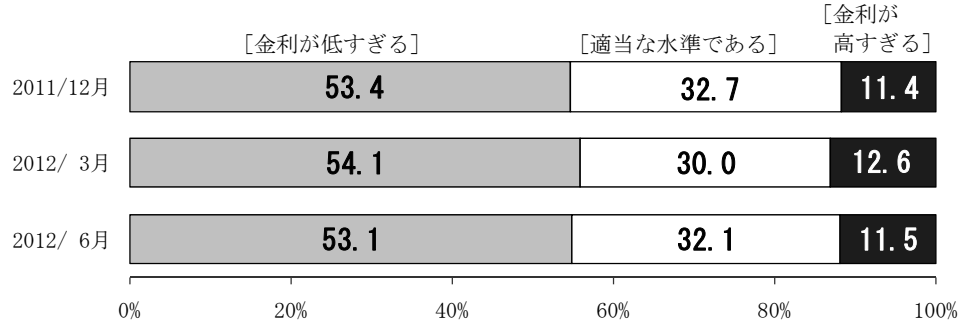
景気判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「勤め先や自分の店の経営状況から」、「マスコミ報道を通じて」といった回答が多かった。

金利水準についての見方は、「金利が高すぎる」、「金利が低すぎる」との回答が減少し、「適当な水準である」との回答が増加した。

（図表２）景気判断の根拠（２つまでの複数回答）〔Q2〕



（図表３）金利水準についての見方〔Q5〕

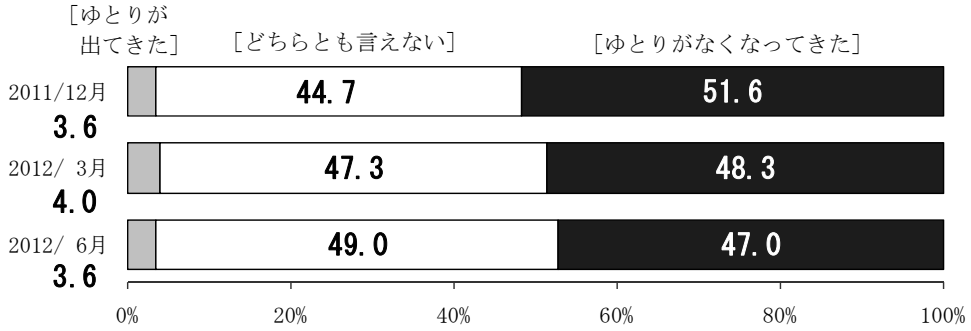


１－２．暮らし向き、消費意識

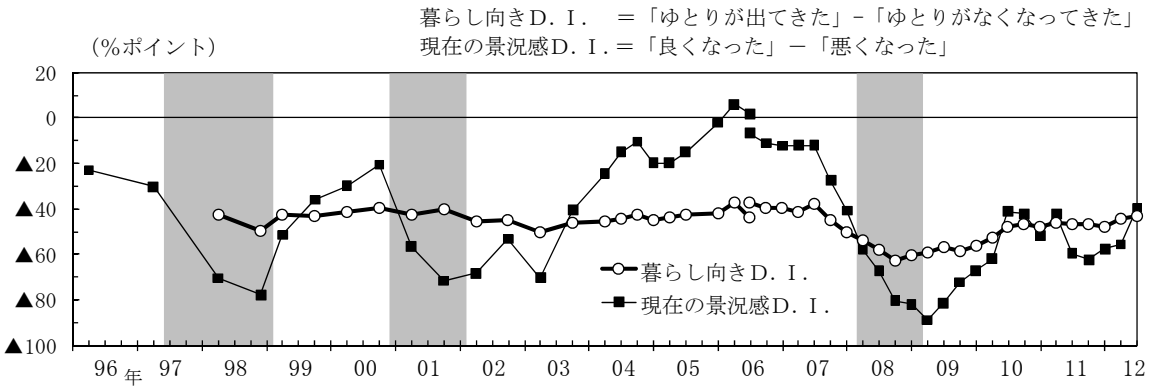
１－２－１．現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（１年前対比）については、「ゆとりがなくなってきた」との回答が減少したことから、暮らし向きＤ．Ｉ．は改善した。

（図表４）現在の暮らし向き〔Q6〕



＜暮らし向きＤ．Ｉ．の推移＞



	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6
暮らし向き Ｄ．Ｉ．	▲58.7	▲56.1	▲52.9	▲48.0	▲46.8	▲48.1	▲46.2	▲46.4	▲46.8	▲48.0	▲44.3	▲43.4
（前回比）	(▲1.7)	(+2.6)	(+3.2)	(+4.9)	(+1.2)	(▲1.3)	(+1.9)	(▲0.2)	(▲0.4)	(▲1.2)	(+3.7)	(+0.9)
現在の景況感 Ｄ．Ｉ．	▲72.3	▲67.0	▲62.0	▲41.2	▲42.1	▲51.7	▲42.3	▲59.5	▲62.4	▲57.5	▲55.6	▲39.5
（前回比）	(+9.1)	(+5.3)	(+5.0)	(+20.8)	(▲0.9)	(▲9.6)	(+9.4)	(▲17.2)	(▲2.9)	(+4.9)	(+1.9)	(+16.1)

（注）1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
2. 2006/6月調査までの景況感Ｄ．Ｉ．は「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」、暮らし向きＤ．Ｉ．は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」－「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
4. シャドー部分は、景気後退期。

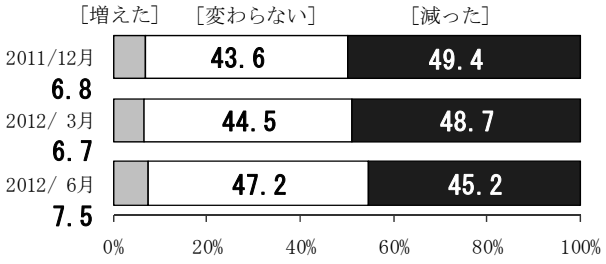
１－２－２．収入・支出

収入の増減については、実績（１年前対比）は、「減った」との回答が減少し、「増えた」、「変わらない」との回答が増加した。先行き（１年後）は、「減る」との回答が減少し、「増える」、「変わらない」との回答が増加した。

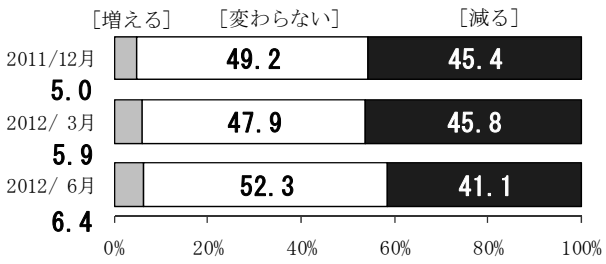
一方、支出の増減については、実績（１年前対比）は、「減った」との回答が減少し、「増えた」、「変わらない」との回答が増加した。先行き（１年後）は、「増やす」、「減らす」との回答が減少し、「変えない」との回答が増加した。

（図表５）収 入〔Q7、8〕

＜現在を１年前と比べると＞

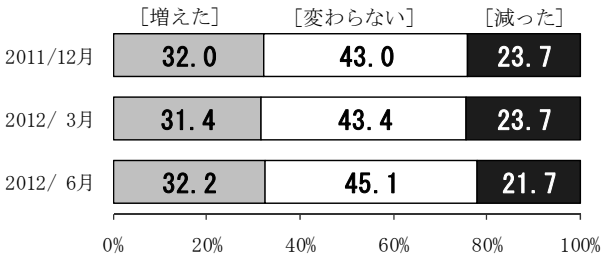


＜１年後を現在と比べると＞

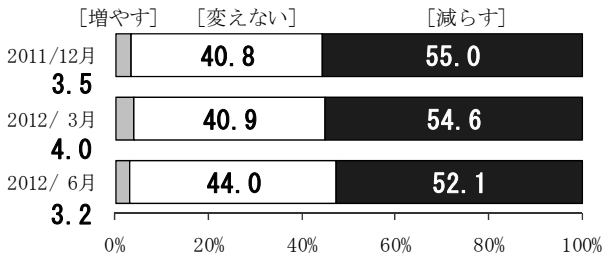


（図表６）支 出〔Q9、11〕

＜現在を１年前と比べると＞



＜１年後を現在と比べると＞

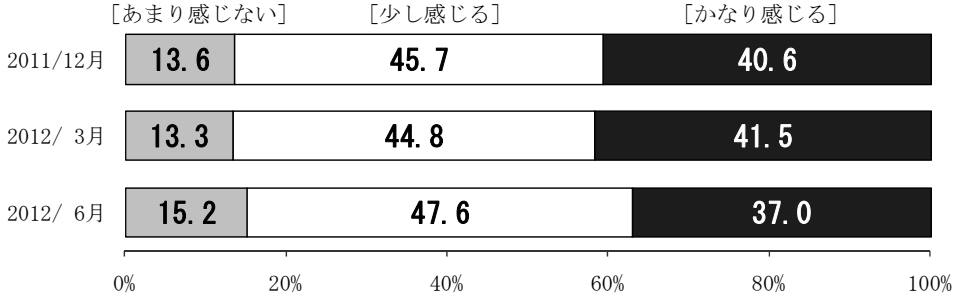


１－２－３．雇用環境

１年後を見た勤労者[注]の勤め先での雇用・処遇の不安については、「かなり感じる」との回答が減少し、「少し感じる」、「あまり感じない」との回答が増加した。

（注）勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

（図表７）１年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）〔Q20＜うち勤労者＞〕



１－３．物価に対する実感

１－３－１．現在の物価

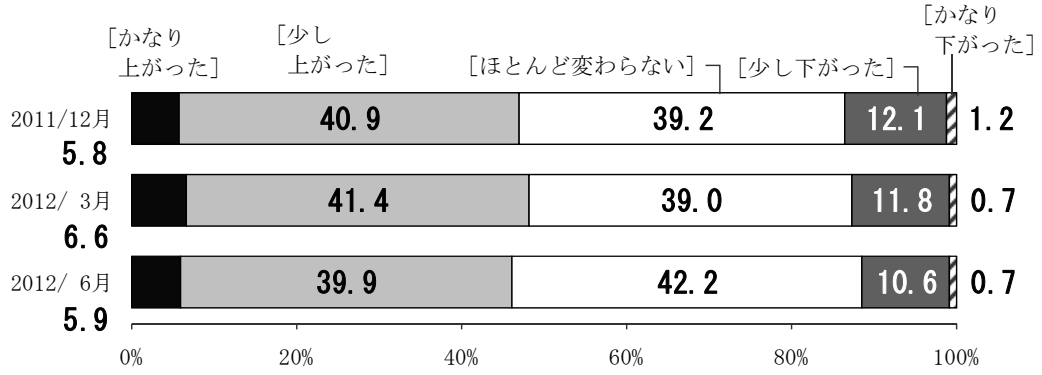
現在の物価(注１)に対する実感（１年前対比）は、『上がった』(注２)、『下がった』(注３)との回答が減少し、「ほとんど変わらない」との回答が増加した。

また、１年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値（＋３．２％＜前回：＋３．４％＞）、中央値（＋０．０％＜前回：＋０．５％＞）ともに上昇率が前回比縮小した。

（注１）「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。
（注２）『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。
（注３）『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

（図表８）現在の物価に対する実感〔Q12、13〕

＜現在を１年前と比べると＞



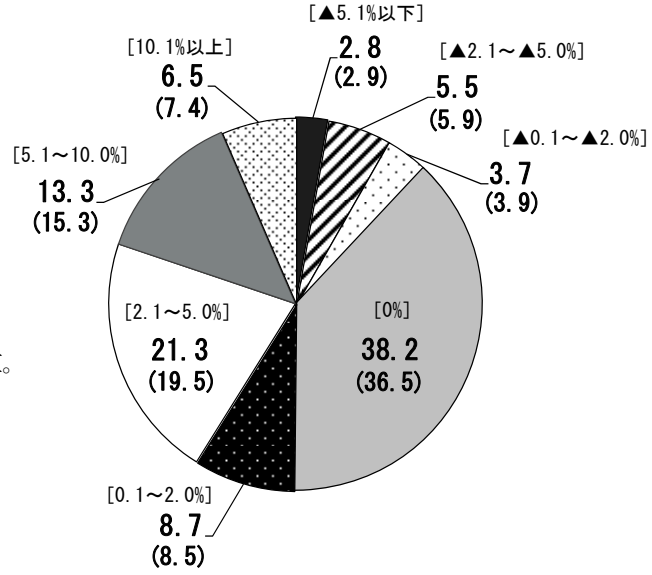
＜１年前に比べ現在の物価は
何%程度変化したと思うか＞

	平均値(注１)	中央値(注２)
11/12月	＋ 3.2 ％	＋ 0.5 ％
12/ 3月	＋ 3.4 ％	＋ 0.5 ％
12/ 6月	＋ 3.2 ％	＋ 0.0 ％

（注１） 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
なお、全サンプルの単純平均値は、**+3.3%**（前回調査＜2012/3月実施＞：**+3.4%**）。

（注２） 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞
（ ）内は前回調査(2012/3月実施)の結果



１－３－２．１年後の物価

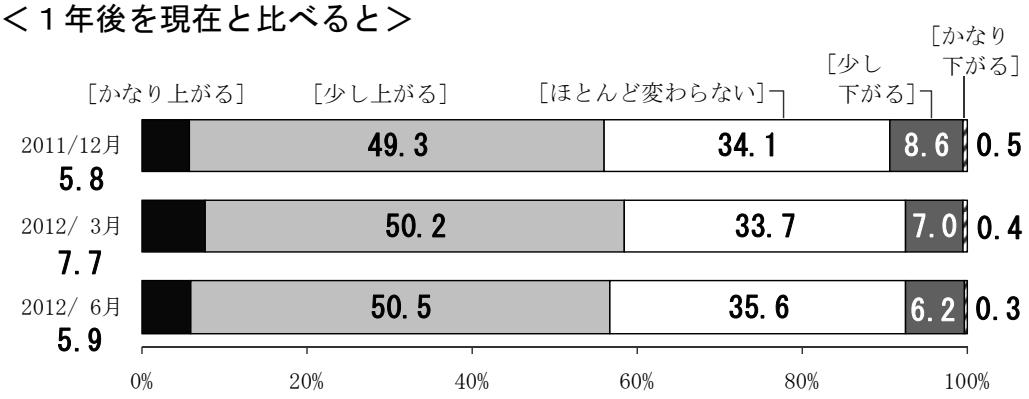
１年後の物価については、『上がる』(注１)、『下がる』(注２) との回答が減少し、「ほとんど変わらない」との回答が増加した。

また、１年後の物価は現在と比べ何％程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値（＋３．６％＜前回：＋４．０％＞）は上昇率が前回比縮小し、中央値（＋２．０％＜前回：＋２．０％＞）は上昇率が前回比横ばいとなった。

（注１）『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。
（注２）『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

（図表９）１年後の物価に対する見方〔Q14、15〕

＜１年後を現在と比べると＞



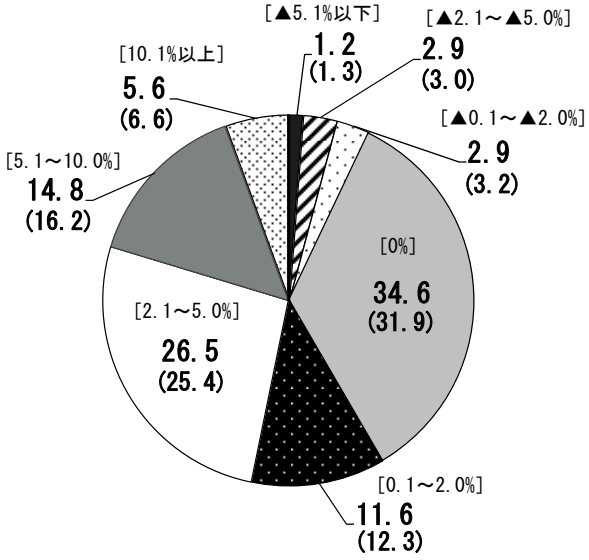
＜１年後の物価は現在と比べ
何%程度変化すると思うか＞

	平均値 (注１)	中央値 (注２)
11/12月	+ 3.6 %	+ 2.0 %
12/ 3月	+ 4.0 %	+ 2.0 %
12/ 6月	+ 3.6 %	+ 2.0 %

（注１） 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
なお、全サンプルの単純平均値は、**+3.7%**（前回調査＜2012/3月実施＞：**+4.1%**）。

（注２） 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞
( )内は前回調査(2012/3月実施)の結果



１－３－３．５年後の物価

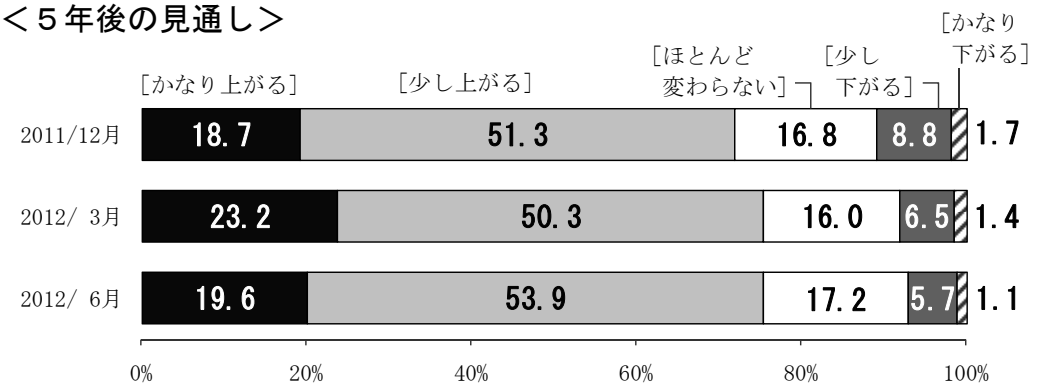
５年後の物価については、『上がる』(注１)との回答が横ばい、「ほとんど変わらない」との回答が増加し、『下がる』(注２)との回答が減少した。

また、これから５年間で物価は現在と比べ毎年、平均何％程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値（＋４．０％＜前回：＋４．３％＞)、中央値（＋２．０％＜前回：＋２．５％＞）ともに上昇率が前回比縮小した。

（注１）『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。
（注２）『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

（図表１０）５年後の物価に対する見方〔Q16、17〕

＜５年後の見通し＞



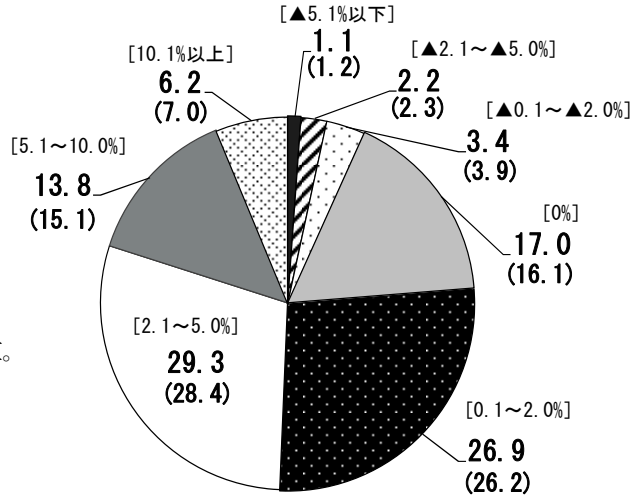
＜５年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか＞

	平均値(注１)	中央値(注２)
11/12月	＋ 4.0 %	＋ 2.0 %
12/ 3月	＋ 4.3 %	＋ 2.5 %
12/ 6月	＋ 4.0 %	＋ 2.0 %

（注１） 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
なお、全サンプルの単純平均値は、**+4.1%**
（前回調査＜2012/3月実施＞：**+4.3%**）

（注２） 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞
( )内は前回調査(2012/3月実施)の結果



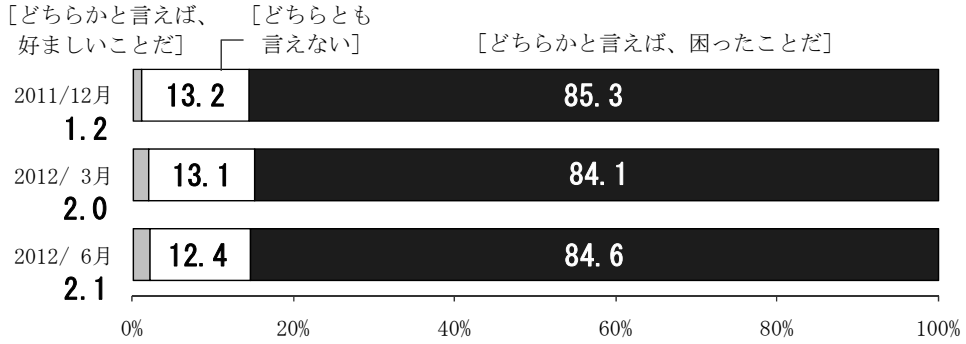
１－３－４．物価上昇・下落についての感想

１年前と比べて物価が『上がった』(注１)と答えた人（４割台半ば）に、その感想を聞くと、８割台半ばの人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

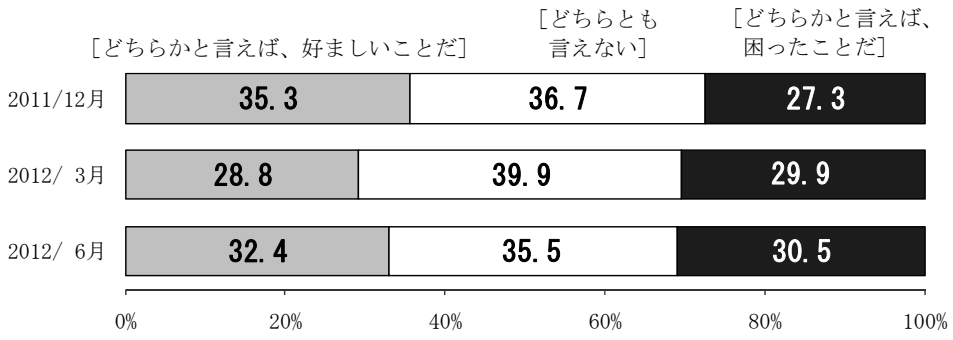
一方、１年前に比べて物価が『下がった』(注２)と答えた人（１割台前半）に、その感想を聞くと、３割台前半の人が「どちらかと言えば、好ましいことだ」と回答し、約３割の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

（注１）『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。
（注２）『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

（図表１１）物価上昇についての感想〔Q12-a〕



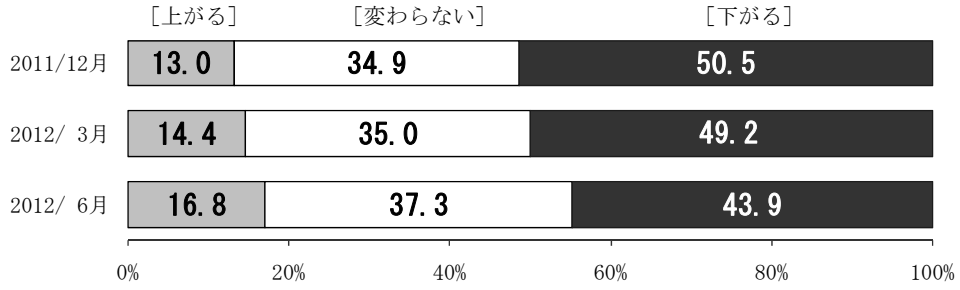
（図表１２）物価下落についての感想〔Q12-b〕



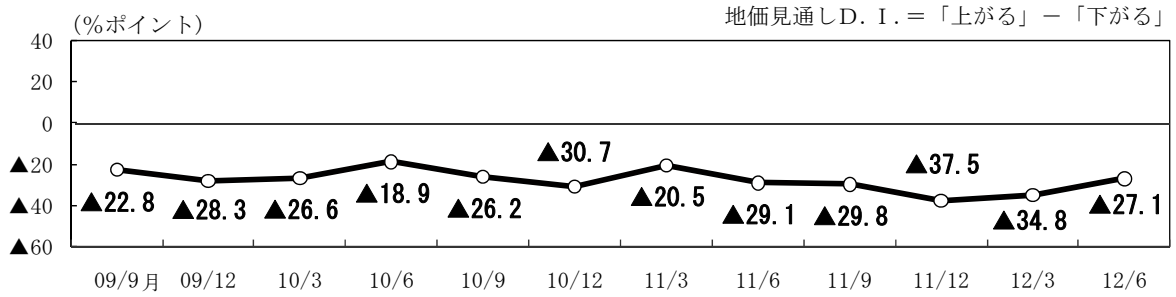
１－４．先行きの地価動向

先行きの地価については、「上がる」との回答が増加し、「下がる」との回答が減少したことから、地価見通しＤ．Ｉ．はマイナス幅を縮小した。

（図表１３）先行きの地価動向に対する見方〔Q18〕



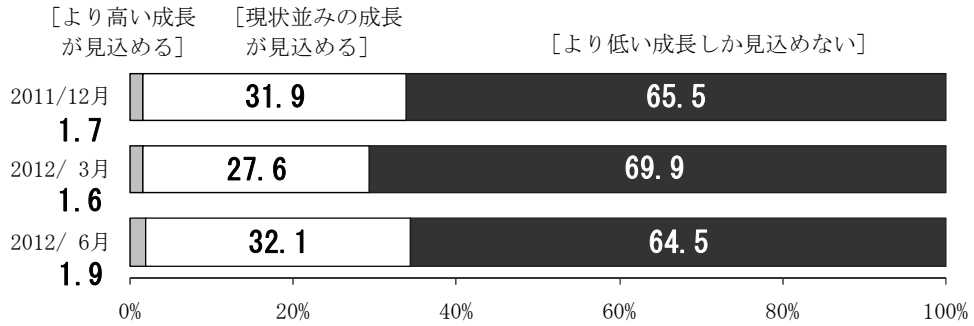
＜地価見通しＤ．Ｉ．の推移＞



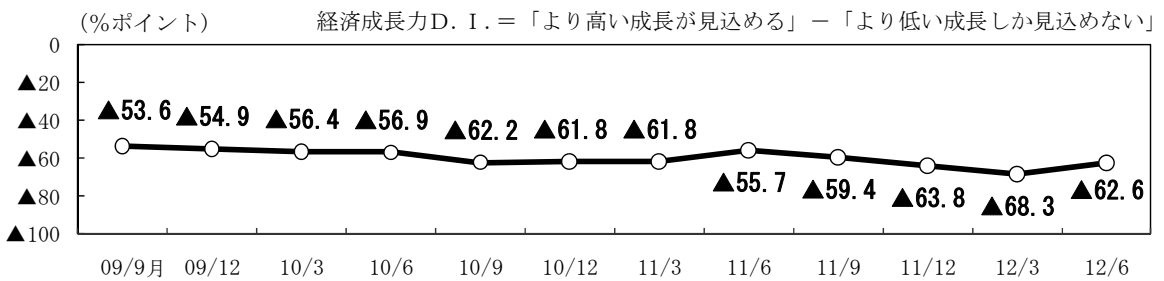
１－５．日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「より低い成長しか見込めない」との回答が減少したことから、経済成長力Ｄ．Ｉ．はマイナス幅を縮小した。

（図表１４）日本経済の成長力に対する見方〔Q19〕



＜経済成長力Ｄ．Ｉ．の推移＞



１－６．日本銀行に関する認知度、信頼度等

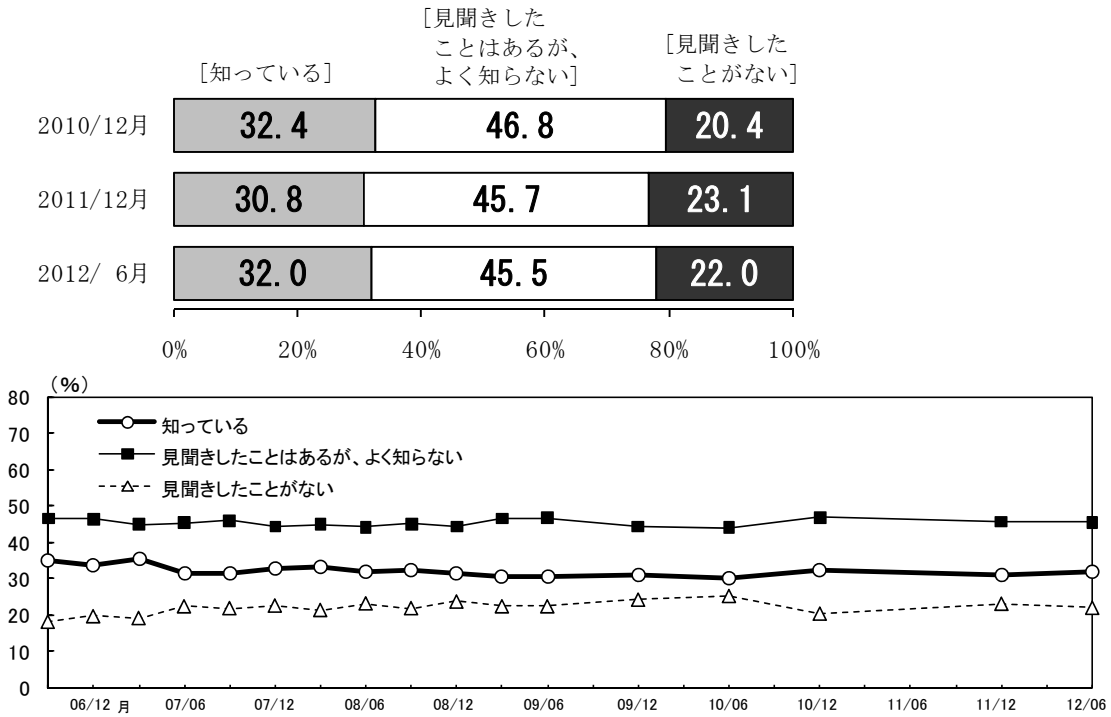
（注）原則6月・12月調査において質問。ただし2011年6月は実施していない。

１－６－１．日本銀行の目的

日本銀行の２つの目的（「物価の安定」、「金融システムの安定」）のうち、「物価の安定」を目的としていることについては、「知っている」との回答は３割台前半となった（図表１５（１））。また、「金融システムの安定」を目的としていることについては、「知っている」との回答は３割台後半となった（図表１６（１））。

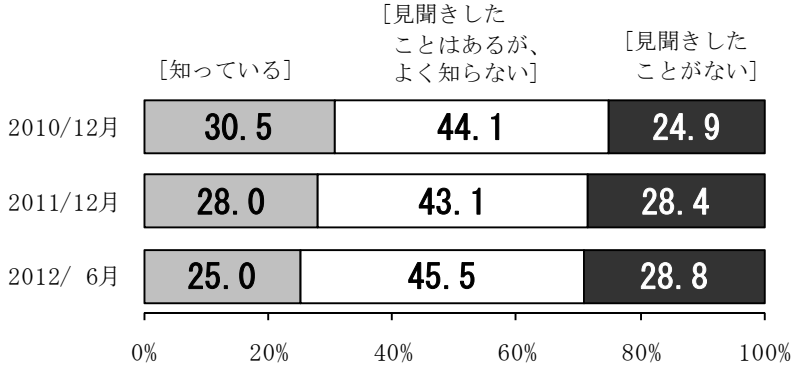
（図表１５）「物価の安定」に関する認知度〔Q21〕

(1) 日本銀行は、「物価の安定」をその目的の一つとしている



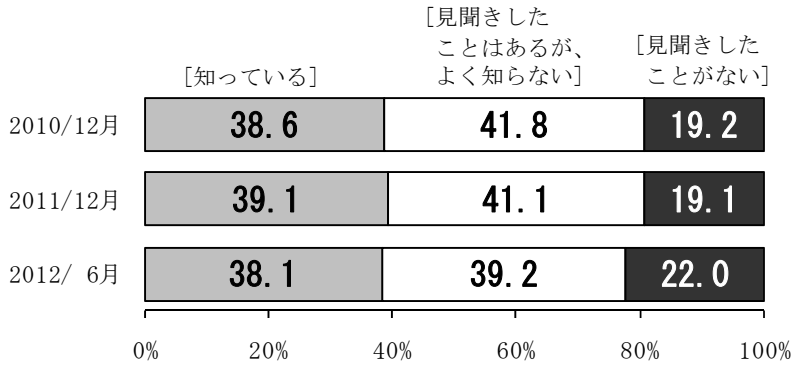
（注 1）郵送調査となった 2006 年 9 月以降を掲載。
（注 2）2009 年 6 月までは年 4 回、それ以降は年 2 回実施。2011 年 6 月は実施せず。

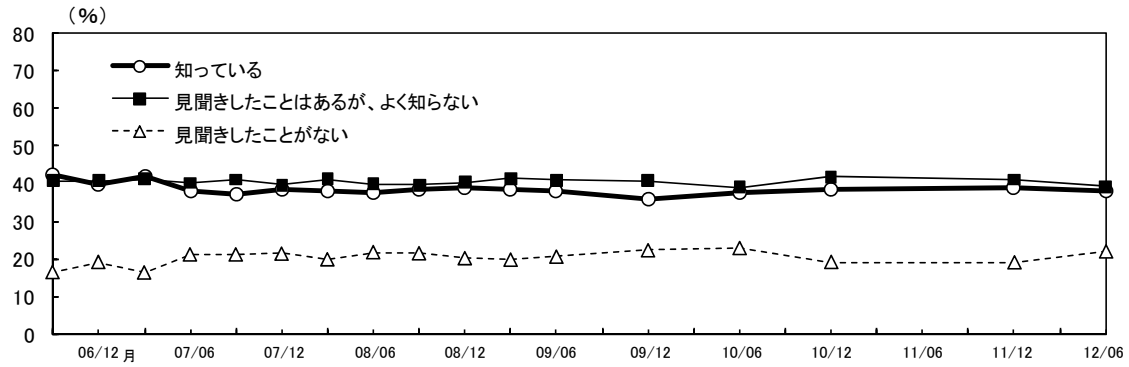
(2) 現在の金融政策は、短期金利の操作を通じて行っている



（図表１６）「金融システムの安定」に関する認知度〔Q22〕

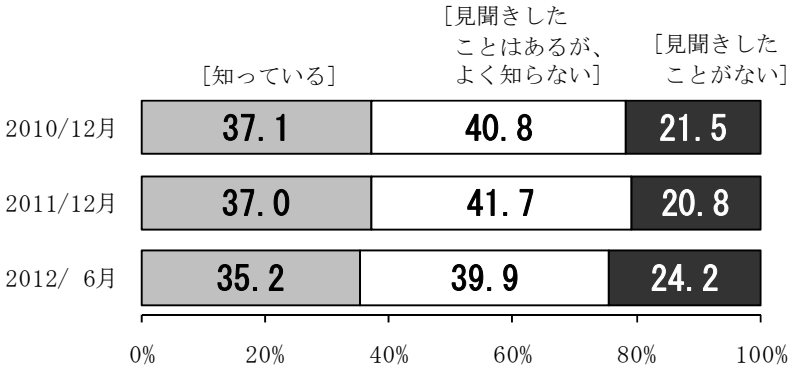
（1）日本銀行は、「金融システムの安定」を図ることをその目的の一つとしている



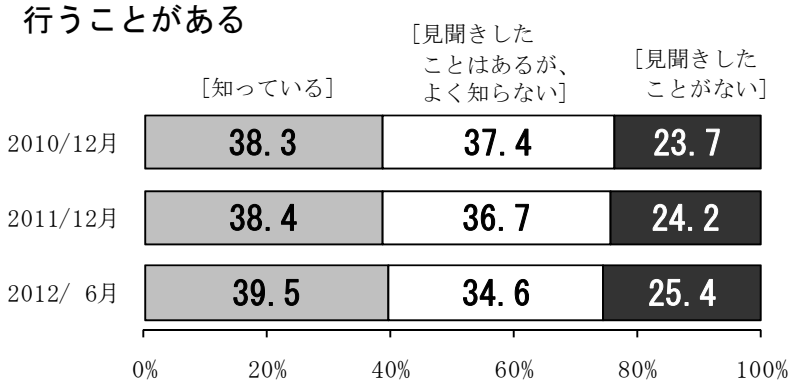


（注 1）郵送調査となった 2006 年 9 月以降を掲載。
（注 2）2009 年 6 月までは年 4 回、それ以降は年 2 回実施。2011 年 6 月は実施せず。

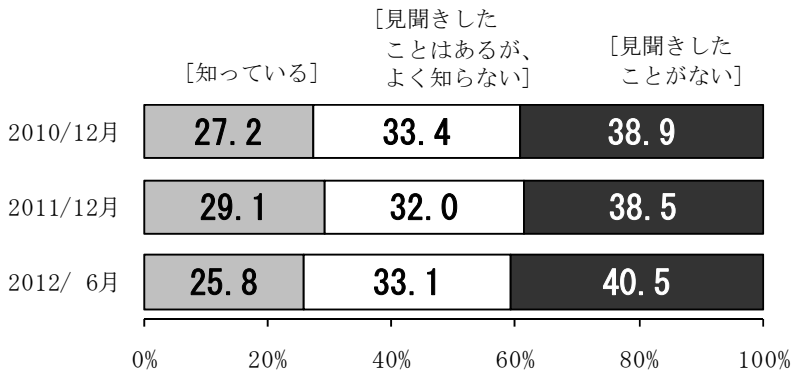
（2）日本銀行は、銀行券や日本銀行当座預金という安全な決済手段を提供したり、資金や国債の決済システムの運営を行っている



（3）日本銀行は、金融システムの安定のため、特融などの金融機関向け貸出を行うことがある



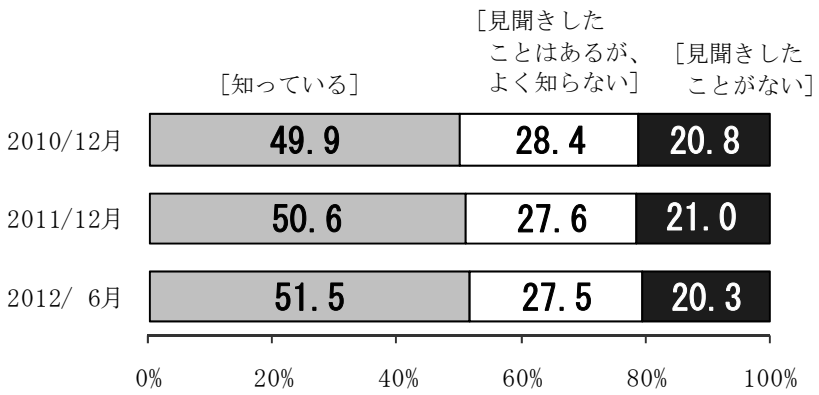
（4）日本銀行は、金融機関への立入り調査（考査）などを実施している



１－６－２．国庫金の電子納付に関する認知度

国の税金や保険料などを（金融機関の窓口に行かなくても）ＡＴＭやインターネットバンキングなどで支払うことができることについて、「知っている」と回答した人の割合は５割台前半となった。

（図表１７）国庫金の電子納付に関する認知度〔Q24〕



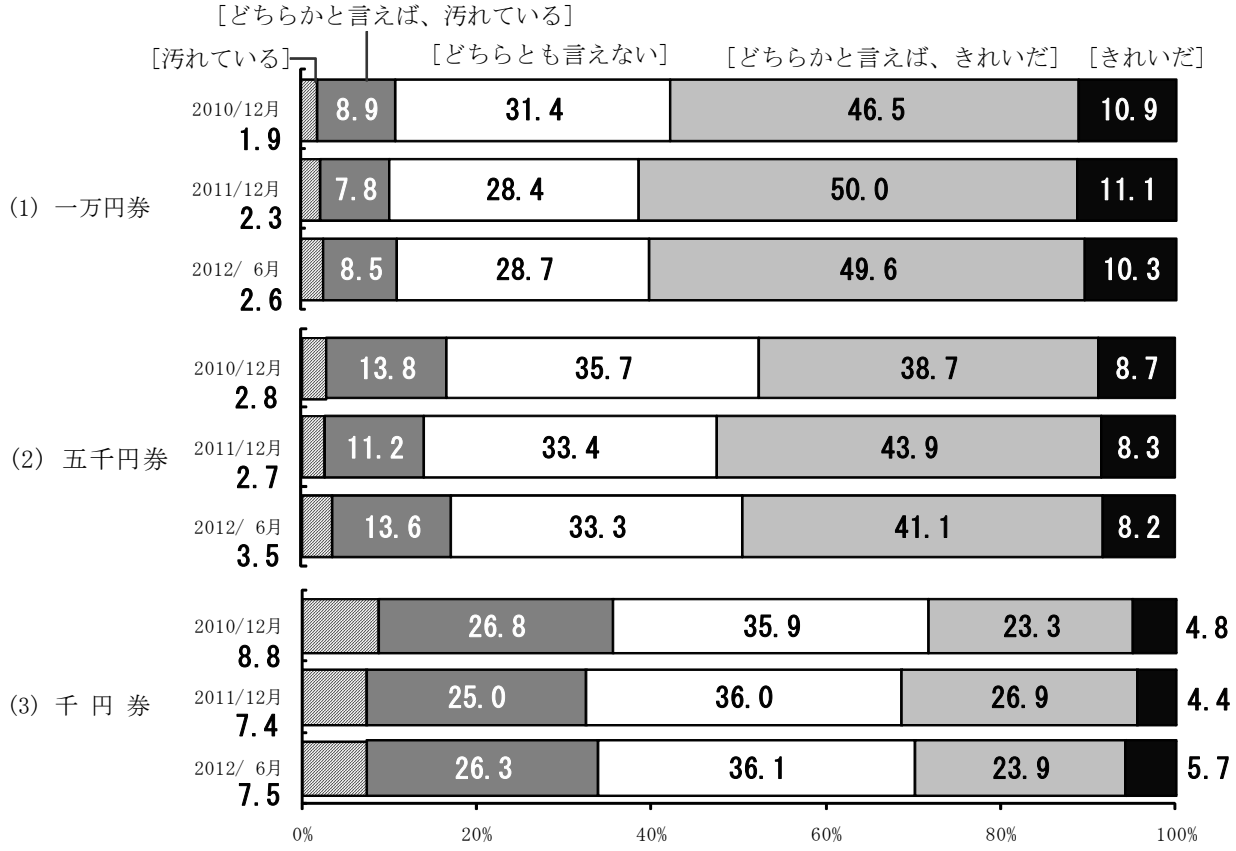
１－６－３．銀行券（紙幣）の汚れ具合（クリーン度）

日常生活で使っている銀行券の汚れ具合（クリーン度）について尋ねたところ、引続き低額券に比べ高額券のクリーン度が高いとの評価となった。

各券種とも、『きれいだ』(注１)との回答が減少し、『汚れている』(注２)との回答が増加した。

（注１）『きれいだ』は「きれいだ」と「どちらかと言えば、きれいだ」の合計。
（注２）『汚れている』は「汚れている」と「どちらかと言えば、汚れている」の合計。

（図表１８）銀行券（紙幣）のクリーン度〔Q25〕



１－６－４．日本銀行に対する関心や認知度、評価

日本銀行に対する関心や認知度等について尋ねたところ（図表１９）、『日本銀行の活動に日頃から関心がある』(注1)と回答した人の割合は２割台半ば、『日本銀行は私たちの生活に関係がある』(注2)と回答した人の割合は７割台前半、『日本銀行は私たちの生活に役立っている』(注3)と回答した人の割合は４割台半ばとなった。また、『日本銀行の外部に対する説明はわかりにくい』(注4)と回答した人の割合は６割台前半となった。『日本銀行を信頼している』(注5)と回答した人の割合は４割台前半となり、『信頼していない』(注6)と回答した人の割合は約１割となった。

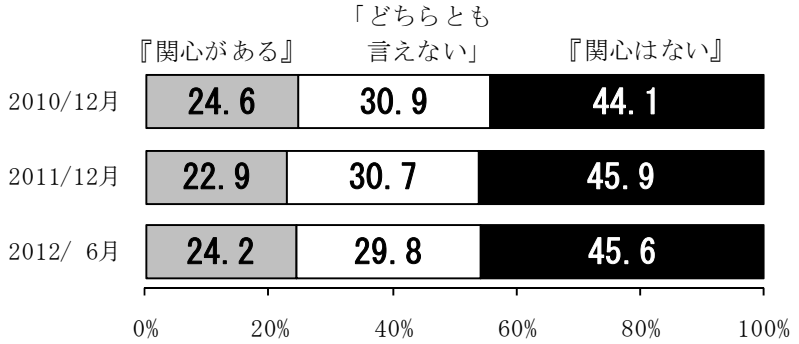
『日本銀行の外部に対する説明はわかりにくい』(注4)と回答した人にその理由を尋ねたところ（図表２０）、「日本銀行について基本的知識がない」との回答が最も多く、次いで「日本銀行の説明や言葉が専門的で難しい」、「金融や経済の仕組み自体がわかりにくい」といった回答が多かった。

『日本銀行を信頼している』(注5)との回答の理由としては（図表２１）、「日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思うから」との 回答が最も多く、次いで「中立の立場で政策が行われていると思うから」との回答が多かった。一方、『信頼していない』(注6)との回答の理由としては（図表２２）、「日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思わないから」、「日本銀行の活動について分かりやすい広報や意見聴取の努力が不足していると思うから」、「中立の立場で政策が行われていると思わないから」との回答が多かった。

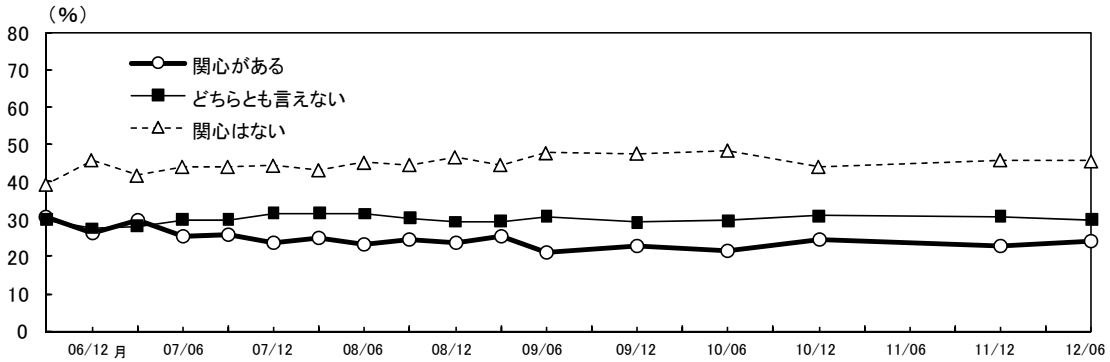
（注１）『関心がある』は「関心がある」と「どちらかと言えば、関心がある」の合計。
（注２）『関係がある』は「関係がある」と「どちらかと言えば、関係がある」の合計。
（注３）『役立っている』は「役立っている」と「どちらかと言えば、役立っている」の合計。
（注４）『わかりにくい』は「わかりにくい」と「どちらかと言えば、わかりにくい」の合計。
（注５）『信頼している』は「信頼している」と「どちらかと言えば、信頼している」の合計。
（注６）『信頼していない』は「信頼していない」と「どちらかと言えば、信頼していない」の合計。

（図表１９）日本銀行に対する関心や認知度、評価〔Q23〕

(1) 日本銀行の活動に日頃から関心がある

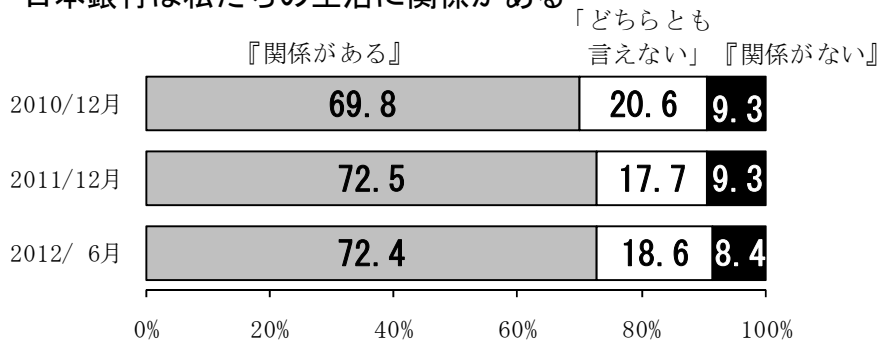


（注 1）『関心がある』は「関心がある」と「どちらかと言えば、関心がある」の合計。
（注 2）『関心はない』は「関心はない」と「どちらかと言えば、関心はない」の合計。

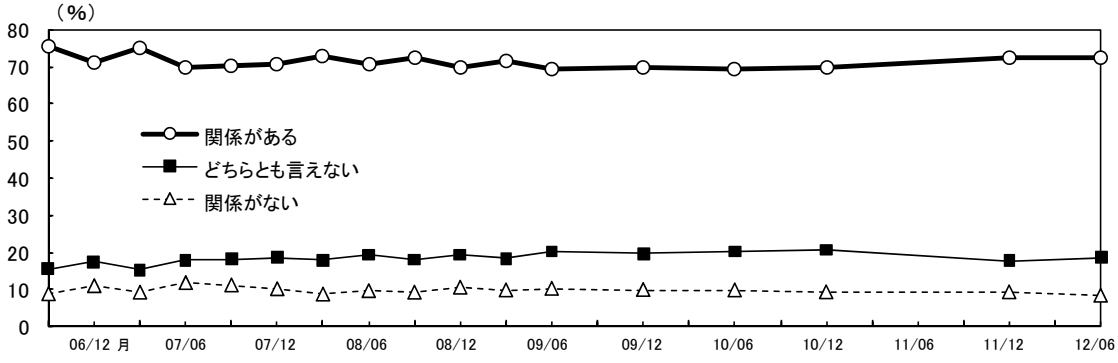


（注 1）郵送調査となった 2006 年 9 月以降を掲載。
（注 2）2009 年 6 月までは年 4 回、それ以降は年 2 回実施。2011 年 6 月は実施せず。

(2) 日本銀行は私たちの生活に関係がある

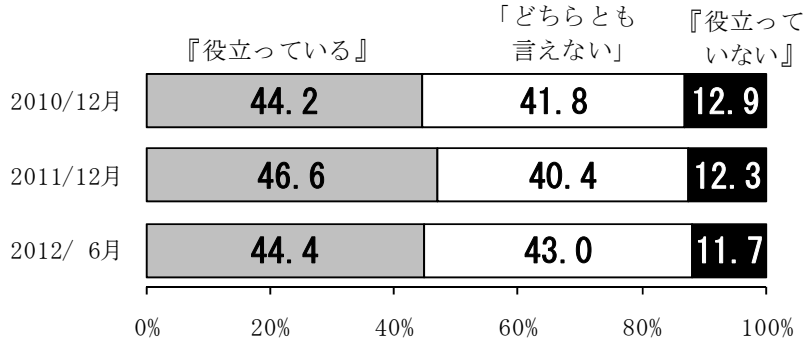


（注 1）『関係がある』は「関係がある」と「どちらかと言えば、関係がある」の合計。
（注 2）『関係がない』は「関係がない」と「どちらかと言えば、関係がない」の合計。

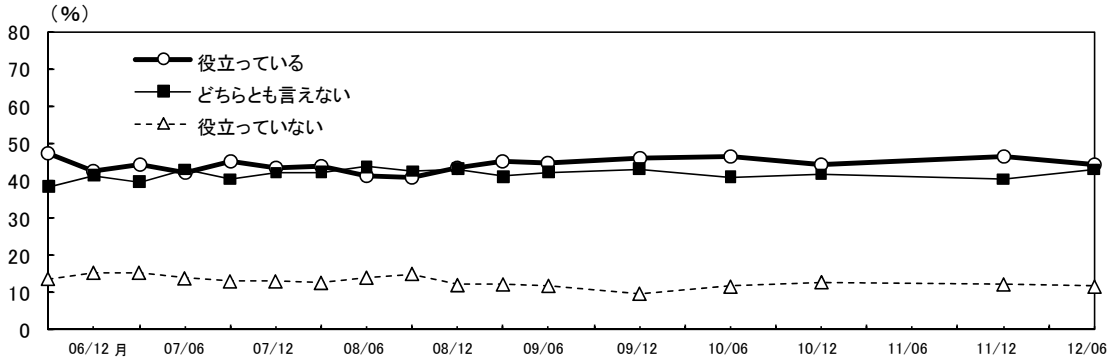


（注 1）郵送調査となった 2006 年 9 月以降を掲載。
（注 2）2009 年 6 月までは年 4 回、それ以降は年 2 回実施。2011 年 6 月は実施せず。

(3) 日本銀行は私たちの生活に役立っている

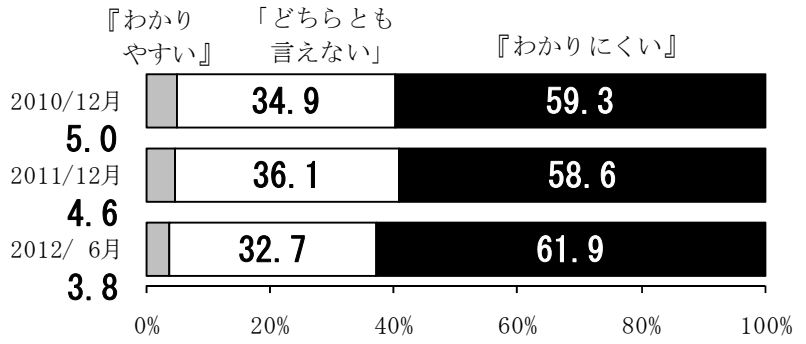


(注1)『役立っている』は「役立っている」と「どちらかと言えば、役立っている」の合計。
(注2)『役立っていない』は「役立っていない」と「どちらかと言えば、役立っていない」の合計。

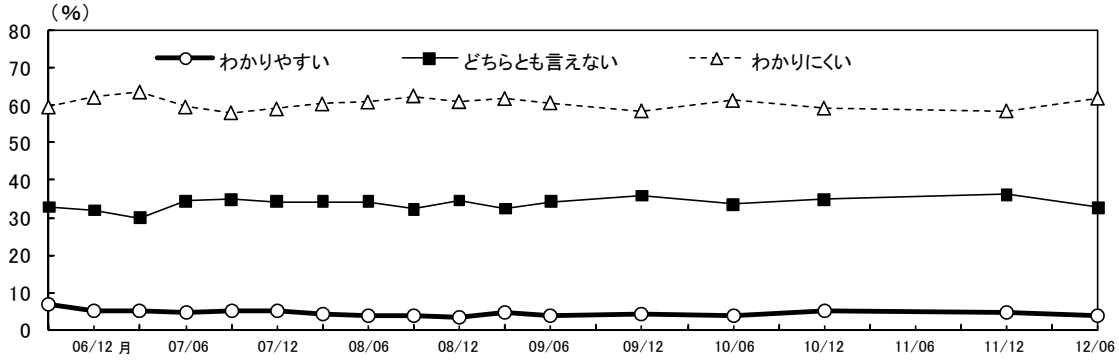


(注1) 郵送調査となった2006年9月以降を掲載。
(注2) 2009年6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011年6月調査は実施せず。

(4) 日本銀行の外部に対する説明はわかりやすい

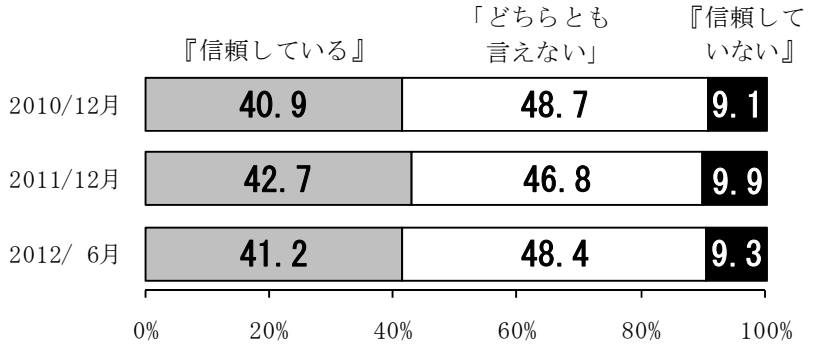


(注1)『わかりやすい』は「わかりやすい」と「どちらかと言えば、わかりやすい」の合計。
(注2)『わかりにくい』は「わかりにくい」と「どちらかと言えば、わかりにくい」の合計。

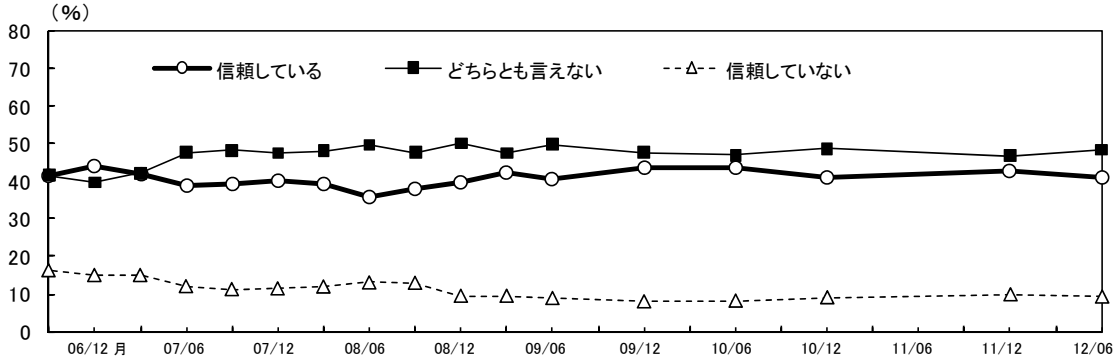


(注1) 郵送調査となった2006年9月以降を掲載。
(注2) 2009年6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011年6月調査は実施せず。

(5) 日本銀行を信頼している

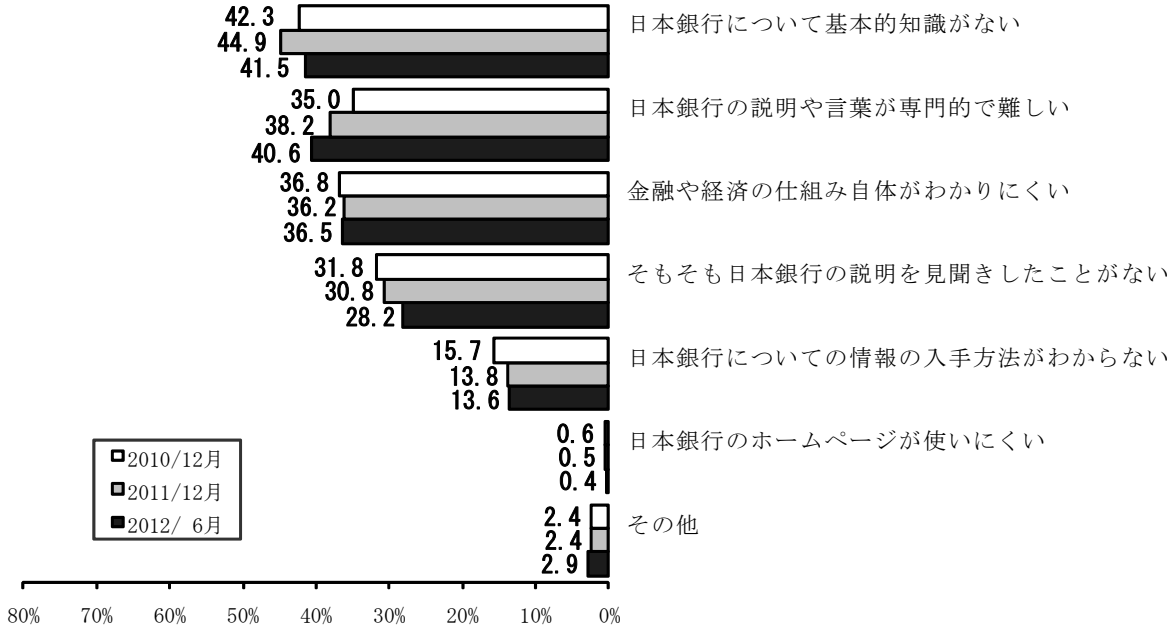


(注 1)『信頼している』は「信頼している」と「どちらかと言えば、信頼している」の合計。
(注 2)『信頼していない』は「信頼していない」と「どちらかと言えば、信頼していない」の合計。

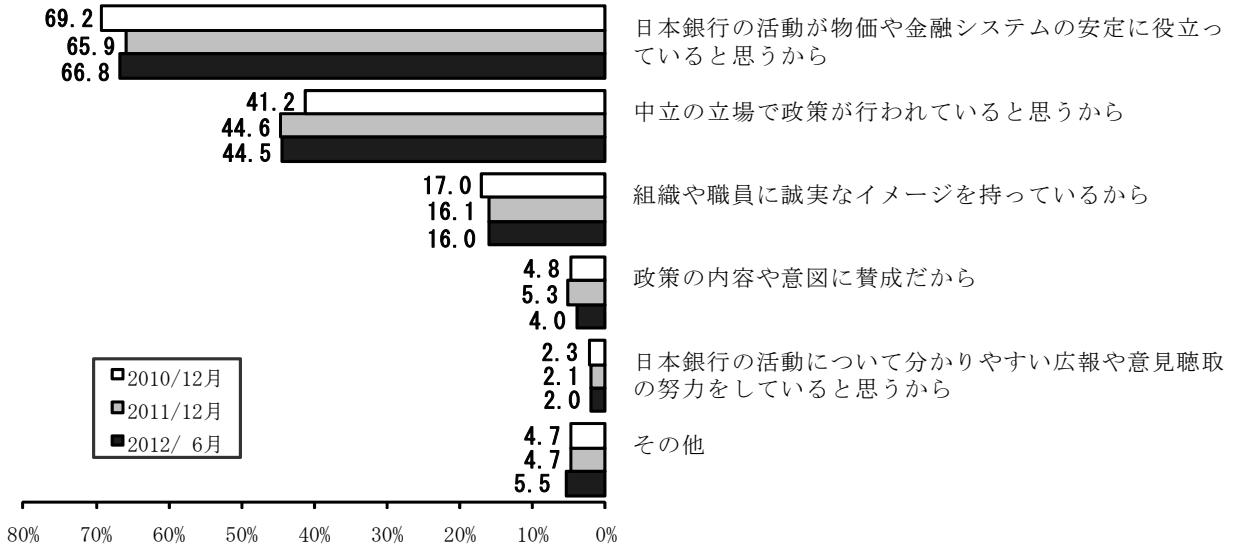


(注 1) 郵送調査となった 2006 年 9 月以降を掲載。
(注 2) 2009 年 6 月までは年 4 回、それ以降は年 2 回実施。2011 年 6 月は実施せず。

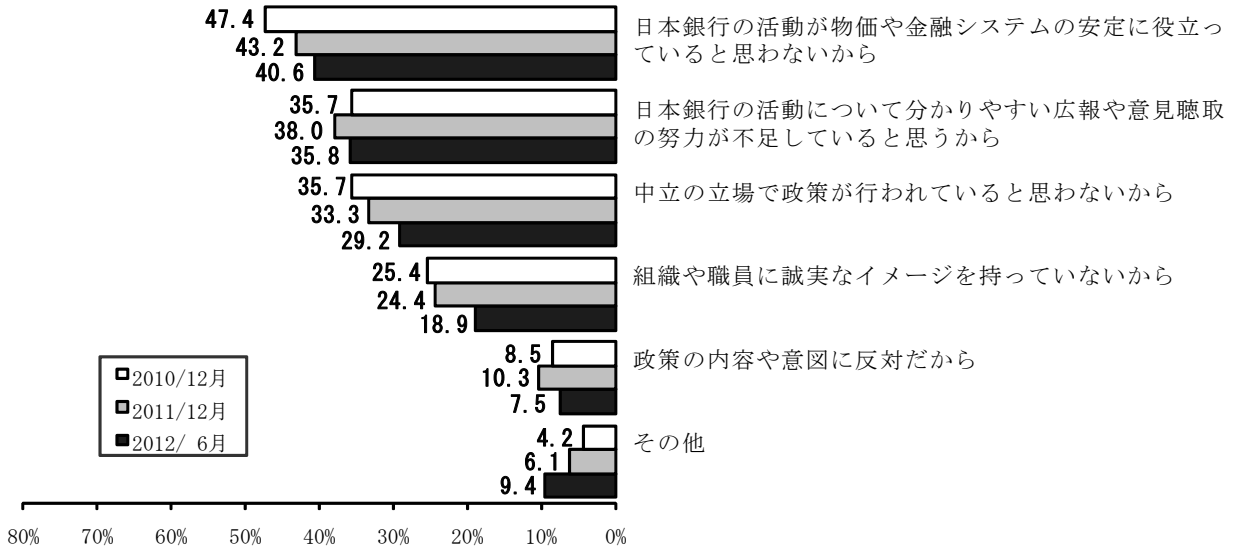
(図表２０) 日本銀行の説明がわかりにくい理由（２つまでの複数回答）〔Q23-a〕



（図表２１）日本銀行を信頼している理由（２つまでの複数回答）〔Q23-b〕



（図表２２）日本銀行を信頼していない理由（２つまでの複数回答）〔Q23-c〕



２．集計対象標本の属性分布

（構成比：％、母集団対比：％ポイント）

	2012/6月調査 （A）	母集団（注） （B）	母集団対比 （A）－（B）	抽出標本 （参考値）
（性別構成）				
男　性	47.3	48.3	▲ 1.0	48.5
女　性	52.7	51.7	1.0	51.5
（年齢別構成）				
20～29歳	11.2	13.2	▲ 2.0	13.3
30～39歳	16.3	17.3	▲ 1.0	17.8
40～49歳	16.2	16.2	0.0	16.3
50～59歳	17.2	15.3	1.9	15.2
60～69歳	20.8	17.5	3.3	17.7
70歳以上	18.2	20.4	▲ 2.2	19.8
（地域別構成）				
北海道	4.1	4.4	▲ 0.3	4.1
東　北	7.8	7.4	0.4	7.5
関　東	32.6	33.2	▲ 0.6	33.3
北　陸	4.3	4.3	0.0	4.1
中　部	15.5	14.0	1.5	14.3
近　畿	16.6	16.2	0.4	16.5
中　国	6.2	5.9	0.3	6.0
四　国	2.8	3.2	▲ 0.4	3.0
九　州	10.1	11.4	▲ 1.3	11.3

（注）住民基本台帳に記録された2011年3月31日現在の市区町村別人口による。
ただし、2011年3月31日現在のデータが欠損している一部の市区町村については、
2010年3月31日現在のデータを用いた。

３．アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」（第50回）
―― 2012年6月調査 ――

・選択肢ごとに付記した数値は、有効回答者数を100としたときの各選択肢の回答比率（単位%、小数点以下第2位を四捨五入）。
・回答は、特に断りのない限り、択一。
・四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
・（ ）内の数値は、特に断りのない限り、前回調査結果（第49回、2012年3月実施）。

Q1.　1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。

1	良くなった	4.5 （ 1.9）
2	変わらない	51.3 （ 40.3）
3	悪くなった	44.0 （ 57.5）

Q2.　Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。【2つまでの複数回答】

1	マスコミ報道を通じて	31.3 （ 34.7）
2	景気関連指標、経済統計をみて	12.7 （ 13.2）
3	勤め先や自分の店の経営状況から	35.2 （ 34.2）
4	自分や家族の収入の状況から	48.1 （ 48.5）
5	商店街、繁華街などの混み具合をみて	24.9 （ 25.4）
6	その他	3.6 （ 3.3）

Q3.　現在の景気をどう感じますか。

1	良い	0.1 （ 0.1）
2	どちらかと言えば、良い	2.6 （ 1.2）
3	どちらとも言えない	20.6 （ 17.0）
4	どちらかと言えば、悪い	52.4 （ 52.5）
5	悪い	24.2 （ 29.0）

Q4.　1年後の景気は、今と比べてどうなると思いますか。

1	良くなる	7.8 （ 6.7）
2	変わらない	58.1 （ 55.9）
3	悪くなる	33.8 （ 37.1）

Q5.　景気の状況を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。

1	金利が低すぎる	53.1 （ 54.1）
2	適当な水準である	32.1 （ 30.0）
3	金利が高すぎる	11.5 （ 12.6）

Q6.　1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。

1	ゆとりが出てきた	3.6 （ 4.0）
2	どちらとも言えない	49.0 （ 47.3）
3	ゆとりがなくなってきた	47.0 （ 48.3）

Q6-a.　（Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方へ）
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】

1	給与や事業などの収入が増えたから	54.3	（ 69.7）
2	利子や配当などの収入が増えたから	4.9	（ 0.0）
3	不動産の売却などの収入があったから	2.5	（ 1.1）
4	物価が下がったから	8.6	（ 0.0）
5	不動産・株式などの資産の価格が上がったから	0.0	（ 0.0）
6	扶養家族が減ったから	19.8	（ 18.0）
7	その他	21.0	（ 16.9）

Q6-b.　（Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方へ）
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】

1	給与や事業などの収入が減ったから	64.1	（ 65.8）
2	利子や配当などの収入が減ったから	15.8	（ 16.6）
3	不動産の購入などの支出があったから	3.6	（ 3.3）
4	物価が上がったから	28.2	（ 29.9）
5	不動産・株式などの資産の価格が下がったから	11.8	（ 11.2）
6	扶養家族が増えたから	10.1	（ 6.5）
7	その他	20.1	（ 20.3）

Q7.　1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。

1	増えた	7.5	（ 6.7）
2	変わらない	47.2	（ 44.5）
3	減った	45.2	（ 48.7）

Q8.　1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。

1	増える	6.4	（ 5.9）
2	変わらない	52.3	（ 47.9）
3	減る	41.1	（ 45.8）

Q9.　1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。

1	増えた	32.2	（ 31.4）
2	変わらない	45.1	（ 43.4）
3	減った	21.7	（ 23.7）

Q9-a.　（Q9で1「増えた」と答えた方へ）
支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】

1	収入が増えたから	6.4	（ 6.0）
2	将来の収入増が見込まれるから	1.1	（ 1.4）
3	不動産など実物資産が値上がりしたから	0.5	（ 0.3）
4	株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.4	（ 0.3）
5	住宅など不動産を購入したから	4.6	（ 4.8）
6	車など耐久消費財を購入したから	20.3	（ 23.1）
7	扶養家族の増加などに伴う支出があったから	29.7	（ 25.8）
8	生活関連の物やサービスの値段が上がったから	45.1	（ 45.2）
9	その他	30.0	（ 29.2）

Q9-b.　（Q9で3「減った」と答えた方へ）
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】

1	収入が減ったから	68.3	（ 71.3）
2	将来の収入増が見込まれないから	45.1	（ 48.9）
3	不動産など実物資産が値下がりしたから	5.3	（ 7.2）
4	株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	9.3	（ 11.7）
5	扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから	11.1	（ 7.5）
6	その他	11.1	（ 7.7）

Q10-1. Q9の支出のうち、あなたの世帯では、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。

1	増やしている	10.0	（ 8.4）
2	変えていない	53.7	（ 51.5）
3	減らしている	34.5	（ 38.7）

Q10-2. それでは、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。

1	増やしている	4.6	（ 3.8）
2	変えていない	37.5	（ 35.2）
3	減らしている	56.9	（ 60.0）

Q11. 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。

1	増やす	3.2	（ 4.0）
2	変えない	44.0	（ 40.9）
3	減らす	52.1	（ 54.6）

Q12. 次に「物価」についておうかがいします。
あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
（「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことです）。

1	かなり上がった	5.9	（ 6.6）
2	少し上がった	39.9	（ 41.4）
3	ほとんど変わらない	42.2	（ 39.0）
4	少し下がった	10.6	（ 11.8）
5	かなり下がった	0.7	（ 0.7）

Q12-a. （Q12で1または2『上がった』と答えた方へ）
「物価」が上がったことをどのように思いますか。

1	どちらかと言えば、好ましいことだ	2.1	（ 2.0）
2	どちらかと言えば、困ったことだ	84.6	（ 84.1）
3	どちらとも言えない	12.4	（ 13.1）

Q12-b. （Q12で4または5『下がった』と答えた方へ）
「物価」が下がったことをどのように思いますか。

1	どちらかと言えば、好ましいことだ	32.4	（ 28.8）
2	どちらかと言えば、困ったことだ	30.5	（ 29.9）
3	どちらとも言えない	35.5	（ 39.9）

Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。

―― 数値をご記入のうえ、**上・下**いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
（ ）%
下がった

平均値（注１）： **+3.2** （ **+3.4**）
中央値（注２）： **0.0** （ **+0.5**）

（注１）極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
―― 全サンプルの単純平均値は **+3.3**（前回調査＜2012/3月実施＞：**+3.4**）。
（注２）回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q14.　1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1	かなり上がる	5.9 （ 7.7）
2	少し上がる	50.5 （ 50.2）
3	ほとんど変わらない	35.6 （ 33.7）
4	少し下がる	6.2 （ 7.0）
5	かなり下がる	0.3 （ 0.4）

Q15.　それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると思いますか。

―― 数値をご記入のうえ、**上・下**いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
（　　）%
下がる

平均値（注１）：　+3.6 （ +4.0）
中央値（注２）：　+2.0 （ +2.0）

（注１）極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
―― 全サンプルの単純平均値は +3.7（前回調査＜2012/3月実施＞：+4.1）。
（注２）回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q16.　5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1	かなり上がる	19.6 （ 23.2）
2	少し上がる	53.9 （ 50.3）
3	ほとんど変わらない	17.2 （ 16.0）
4	少し下がる	5.7 （ 6.5）
5	かなり下がる	1.1 （ 1.4）

Q17.　それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると思いますか。

―― 数値をご記入のうえ、**上・下**いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
毎年、平均（　　）%
下がる

平均値（注１）：　+4.0 （ +4.3）
中央値（注２）：　+2.0 （ +2.5）

（注１）極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
―― 全サンプルの単純平均値は +4.1（前回調査＜2012/3月実施＞：+4.3）。
（注２）回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q18.　先行きの土地の価格（地価）はどうなると思いますか。

1	上がる	16.8 （ 14.4）
2	変わらない	37.3 （ 35.0）
3	下がる	43.9 （ 49.2）

Q19.　長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。

1	より高い成長が見込める	1.9 （ 1.6）
2	現状並みの成長が見込める	32.1 （ 27.6）
3	より低い成長しか見込めない	64.5 （ 69.9）

Q20.　これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。

			うち勤労者（注）
1	あまり感じない	13.3 （ 12.6）	15.2 （ 13.3）
2	少し感じる	47.7 （ 44.3）	47.6 （ 44.8）
3	かなり感じる	36.9 （ 40.6）	37.0 （ 41.5）

（注）勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

以降のＱ21～25は日本銀行に関する質問です。
※原則6月・12月調査において質問。ただし第46回調査（2011年6月）は実施していない。
（ ）内は第48回調査（2011年12月実施）結果。

Ｑ21.　次の(1)～(2)の項目は、日本銀行の2つの目的のうち「物価の安定」について述べたものです。もっともあてはまると思われる番号に1つずつ○を付けて下さい。

(1) 日本銀行は、「物価の安定」をその目的の一つとしていることをご存知ですか。

1	知っている	32.0 （ 30.8 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	45.5 （ 45.7 ）
3	見聞きしたことがない	22.0 （ 23.1 ）

(2) 現在の金融政策は、短期金利の操作を通じて行っていることをご存知ですか。

1	知っている	25.0 （ 28.0 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	45.5 （ 43.1 ）
3	見聞きしたことがない	28.8 （ 28.4 ）

Ｑ22.　次の(1)～(4)の項目は、日本銀行のもう一つの目的である「金融システムの安定」について述べたものです。もっともあてはまると思われる番号に1つずつ○を付けて下さい。

(1) 日本銀行は、「金融システムの安定」を図ることをその目的の一つとしていることをご存知ですか。

1	知っている	38.1 （ 39.1 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	39.2 （ 41.1 ）
3	見聞きしたことがない	22.0 （ 19.1 ）

(2) 日本銀行は、銀行券や日本銀行当座預金という安全な決済手段を提供したり、資金や国債の決済システムの運営を行っていることをご存知ですか。

1	知っている	35.2 （ 37.0 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	39.9 （ 41.7 ）
3	見聞きしたことがない	24.2 （ 20.8 ）

(3) 日本銀行は、金融システムの安定のため、特融などの金融機関向け貸出を行うことがあることをご存知ですか。

1	知っている	39.5 （ 38.4 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	34.6 （ 36.7 ）
3	見聞きしたことがない	25.4 （ 24.2 ）

(4) 日本銀行は、金融機関への立入り調査（考査）などを実施していることをご存知ですか。

1	知っている	25.8 （ 29.1 ）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	33.1 （ 32.0 ）
3	見聞きしたことがない	40.5 （ 38.5 ）

Q23.　日本銀行について、以下の(1)～(5)の項目のそれぞれに対し、あなたの考えにもっともあてはまると思われる番号に1つずつ○を付けて下さい。

(1) 日本銀行の活動に日頃から関心を持たれていますか。

1	関心がある	5.3	（ 5.1）
2	どちらかと言えば、関心がある	18.9	（ 17.8）
3	どちらとも言えない	29.8	（ 30.7）
4	どちらかと言えば、関心はない	30.9	（ 32.9）
5	関心はない	14.7	（ 13.0）

(2) 日本銀行は私たちの生活に関係があると思いますか。

1	関係がある	37.2	（ 36.7）
2	どちらかと言えば、関係がある	35.2	（ 35.8）
3	どちらとも言えない	18.6	（ 17.7）
4	どちらかと言えば、関係がない	5.5	（ 6.2）
5	関係がない	2.9	（ 3.1）

(3) 日本銀行は私たちの生活に役立っていると思いますか。

1	役立っている	16.4	（ 16.7）
2	どちらかと言えば、役立っている	28.0	（ 29.9）
3	どちらとも言えない	43.0	（ 40.4）
4	どちらかと言えば、役立っていない	7.7	（ 8.2）
5	役立っていない	4.0	（ 4.1）

(4) 日本銀行の外部に対する説明は、わかりやすいと思いますか。

1	わかりやすい	0.7	（ 0.5）
2	どちらかと言えば、わかりやすい	3.1	（ 4.1）
3	どちらとも言えない	32.7	（ 36.1）
4	どちらかと言えば、わかりにくい	41.6	（ 38.0）
5	わかりにくい	20.3	（ 20.6）

(5) 日本銀行を信頼していますか。

1	信頼している	13.2	（ 13.8）
2	どちらかと言えば、信頼している	28.0	（ 28.9）
3	どちらとも言えない	48.4	（ 46.8）
4	どちらかと言えば、信頼していない	6.5	（ 7.4）
5	信頼していない	2.8	（ 2.5）

Q23-a.　（(4)で4または5（『わかりにくい』）と答えた方への質問）
わかりにくいと思われる理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

1	日本銀行の説明や言葉が専門的で難しい	40.6	（ 38.2）
2	日本銀行について基本的知識がない	41.5	（ 44.9）
3	金融や経済の仕組み自体がわかりにくい	36.5	（ 36.2）
4	そもそも日本銀行の説明を見聞きしたことがない	28.2	（ 30.8）
5	日本銀行についての情報の入手方法がわからない	13.6	（ 13.8）
6	日本銀行のホームページが使いにくい	0.4	（ 0.5）
7	その他	2.9	（ 2.4）

Q23-b. （(5)で1または2（『信頼している』）と答えた方への質問）
信頼している理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

1	日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思うから	66.8	（ 65.9）
2	政策の内容や意図に賛成だから	4.0	（ 5.3）
3	中立の立場で政策が行われていると思うから	44.5	（ 44.6）
4	日本銀行の活動について分かりやすい広報や意見聴取の努力をしていると思うから	2.0	（ 2.1）
5	組織や職員に誠実なイメージを持っているから	16.0	（ 16.1）
6	その他	5.5	（ 4.7）

Q23-c. （(5)で4または5（『信頼していない』）と答えた方への質問）
信頼していない理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

1	日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思わないから	40.6	（ 43.2）
2	政策の内容や意図に反対だから	7.5	（ 10.3）
3	中立の立場で政策が行われていると思わないから	29.2	（ 33.3）
4	日本銀行の活動について分かりやすい広報や意見聴取の努力が不足していると思うから	35.8	（ 38.0）
5	組織や職員に誠実なイメージを持っていないから	18.9	（ 24.4）
6	その他	9.4	（ 6.1）

Q24. 国の税金や、国民年金保険料、労働保険料などは、金融機関の窓口に行かなくても、ＡＴＭやインターネットバンキングなどで支払うことができることをご存知ですか。

1	知っている	51.5	（ 50.6）
2	見聞きしたことはあるが、よく知らない	27.5	（ 27.6）
3	見聞きしたことがない	20.3	（ 21.0）

Q25. 日常生活で使っている銀行券は汚れていると思いますか。

(1) 一万円券についてお答え下さい。

1	汚れている	2.6	（ 2.3）
2	どちらかと言えば、汚れている	8.5	（ 7.8）
3	どちらとも言えない	28.7	（ 28.4）
4	どちらかと言えば、きれいだ	49.6	（ 50.0）
5	きれいだ	10.3	（ 11.1）

(2) 五千円券についてお答え下さい。

1	汚れている	3.5	（ 2.7）
2	どちらかと言えば、汚れている	13.6	（ 11.2）
3	どちらとも言えない	33.3	（ 33.4）
4	どちらかと言えば、きれいだ	41.1	（ 43.9）
5	きれいだ	8.2	（ 8.3）

(3) 千円券についてお答え下さい。

1	汚れている	7.5	（ 7.4）
2	どちらかと言えば、汚れている	26.3	（ 25.0）
3	どちらとも言えない	36.1	（ 36.0）
4	どちらかと言えば、きれいだ	23.9	（ 26.9）
5	きれいだ	5.7	（ 4.4）

最後に、あなたご自身のことやご家族のことについて全員にお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を統計的に分析するために欠かすことができませんので、ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

Q26.　あなたの性別は次のどちらですか。

1	男　性	47.3	（ 47.4）
2	女　性	52.7	（ 52.6）

Q27.　あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。

1	20～29歳	11.2	（ 9.8）
2	30～39歳	16.3	（ 14.0）
3	40～49歳	16.2	（ 17.1）
4	50～59歳	17.2	（ 16.7）
5	60～69歳	20.8	（ 21.7）
6	70歳以上	18.2	（ 20.6）

Q28.　あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。

1	農林漁業	2.6	（ 2.5）
2	自営業・自由業	9.6	（ 9.7）
3	常雇（会社員・公務員など＜会社役員を含む＞）	35.2	（ 33.9）
4	臨時・日雇（パート・アルバイト）	15.9	（ 15.3）
5	上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など）	36.3	（ 37.8）

Q29.　あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金、義援金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。

1	1～300万円未満	37.7	（ 41.5）
2	300万円～500万円未満	29.9	（ 27.2）
3	500万円～1,000万円未満	22.6	（ 20.9）
4	1,000万円以上	5.4	（ 5.5）
5	収入はない	2.9	（ 3.8）

Q30.　現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。

1	単身世帯（一人暮らし）	11.7	（ 10.9）
2	1世代世帯（夫婦のみ）	25.8	（ 26.0）
3	2世代世帯（親と子供の世帯）	48.0	（ 49.6）
4	3世代世帯（祖父母と親と子の世帯）	11.3	（ 10.7）
5	その他の世帯（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など）	2.0	（ 2.6）

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

1	記入あり	18.9	（ 18.8）
2	記入なし	81.1	（ 81.2）